

# 医療従事者のボランティア活動の記録 (平成23年5月25日・26日)

報告者 四谷左門町鍼灸院 中野朋儀



震災により、三陸海岸線の通行に危険があるため交通ルートを、新幹線で水沢江刺まで行き、そこから遠野の山を車で3時間走り峠を越えて釜石市に入る。

## 釜石市内・釜石港



## 釜石大観音

施術活動の安全を祈願  
震災で損傷がひどく、胸  
まで上がれる展望台は  
閉鎖されていた。



## 釜石港

## 釜石ボランティアセンター



釜石ボラセンターから依頼を受けて  
5月25日(水)は、東前町避難場所へ  
5月26日(木)は、松原コミュニティ消  
防センター(避難所)へ

## 釜石市内(内陸から港へ)



## 日赤臨時診療所



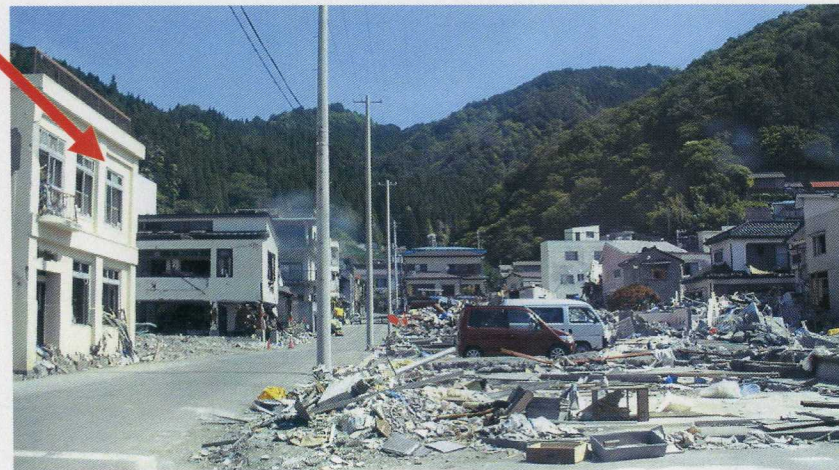
# 5月25日(水)第1日目

東前町避難場所(坂を上り左に曲がる)

## 釜石市内・釜石港



東前町避難場所へ向かう路



## 東前町避難場所

(中野担当の施術記録です)

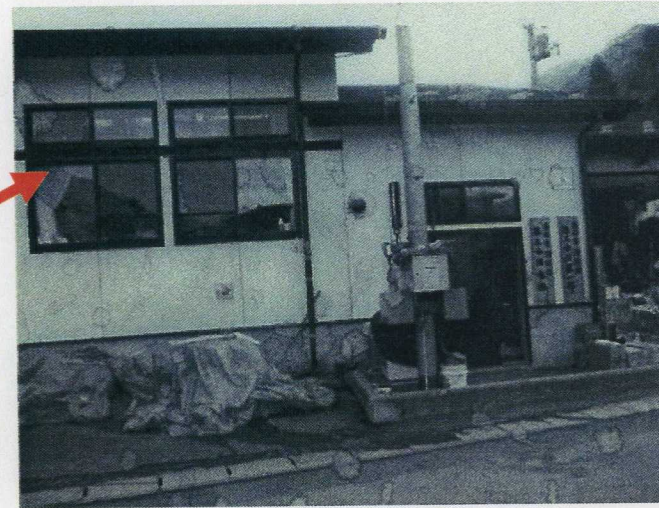
- ・個人宅に近所の住人10数名が寄り合って避難されている。
- ・施術スペースはなく、津波で浸水した床(板がむき出しになっている)の上に食事を使っている会議用テーブル4つのうち、2つを借りそこにマットを敷いて施術を行う。  
(会議用のテーブルを4つ合わせてみんなが食事をする場所)
- ・ライフラインは、電気だけ、水は給水、薪を割り交代で炊き出しをしている。
- ・活動時間:13:00~16:30頃まで
- ・施 術(今日まで施術ボランティアが来ていない。)
- 右膝痛(50代女性) 今まで平地で生活していたが、避難で坂の上の生活で膝が痛くなった。
- 肩こり、背中痛み(40代女性) 10日で4kg痩せ、食欲もなく夜も眠れない日が続いている。施術終了後、ボラセンター担当者へ報告
- 肩こり、頭痛(50代女性) 避難生活の疲れ。
- 右肩の痛み(30代男性) フォークリフトの運転でいつも左肩が重痛いが、震災の時毎日40kg水を運んでいた。それから右肩の痛みが続いている。
- ふらつき、頭がボーっとする。(60代男性) 震災時から血圧が200から下がらない。薬は飲んでいない。施術終了後、ボラセンター担当者へ報告
- 肩こり(20代男性) 炊き出しで薪割をしたために肩が凝った。

# 5月26日(木)第2日目

釜石市内・釜石港



松原コミュニティ消防センター(避難所)



松原コミュニティ消防センターへ向かう路



## 松原コミュニティ消防センター(避難所)

- ・松原町の住民が40人程避難している。
- ・震災により3/4の町民の方が亡くなられた。
- ・震災発生から4日間瓦礫で道路が塞がれ孤立した。
- ・施術スペースは消防団員の仮眠室で6畳程の広さにマットを敷いて行う。
- ・活動時間:9:00~11:30頃まで
- ・施 術
  - 右膝の痛み(70代男性) 災害後、坂道を上り下りしたため膝に水が溜まり、水を抜いたが痛みが残り杖での歩行をしている。
  - 肩こり、背中のかり(50代女性) 夜、2~3時間おきに目が覚める。  
精神的不安が大きい。
  - 腰の痛み(50代男性) 腰骨よりの左右が痛い。

\* 前日マッサージボランティア団体が入っていた為、希望者が少なかった。